

総務企画 委員会

●能代市国民保護対策本部・国民保護協議会条例の制定について質疑があり、国民保護法についてさまざまな意見があるが法定受託事務である。国・県の指示に従い、市として避難や救護、物資調達を行うことになり、それに対応した計画を策定することになる。市民の訓練等については自主防災組織ボランティア等の自発的な活動に対し行政が支援するものであり、報道管制など有事の際の制限等につながるなどの疑問を持たれていると認識している。

保護計画策定後は速やかに議会に報告することになっているほか、パブリックコメントを取り入れることにしているが、法的には議会の意見を聞くことにはなっていない。しかし、成案前には何らかの形で議会に意見を聞く機会を設けていきたいと考えている、との答弁があった。

また、戦争は一夜にして起こらない。着々とした準備の中で戦争は起きてくるという観点から条例制定には反対で

ある、との討論があった。

●一般会計補正予算について質疑があり、実質公債費比率が18%に達していないから財政状況が良いものではない。経常収支比率や財政調整基金の残額から見ても厳しい状況にある。

来年は国体関係費を捻出しなければならず、扶助費や繰出金、一部事務組合の負担金など年々増加傾向にあり、経常費の削減ができない状況にある。未利用地の売却、管理職手当てを検討し、学校等の建設に当たっては身の丈にあつた華美にならないようにし、コスト縮減に取り組みなければならぬ。

かつてない厳しい状況との認識のもと、市民に財政状況をお知らせし、ご理解をいただきたい、との答弁があった。

●檜山地域のまちづくりについて質疑があり、報償費にあるまちづくりアドバイザーは秋田市新屋の事例を手がけており、そのノウハウを檜山のまちづくりにも生かしていただが、企画段階からワークショップ等、住民と一緒に話し合いをしていきたい、との答弁があった。

(安岡)



◀環境産業委員会

環境産業 委員会

●公設小売市場・民間委譲へ民間委譲の推移について質疑があり、昨年度から協同組合と協議を重ね、要望のあつた空調設備を更新する。また、雨漏りが見られるため屋根の補修工事を行う。これによって運営に当たつての環境が整うものと考えている。3月定例会で関係議案を提出し、来年4月1日に民間委譲できるように進めている、との答弁があった。

●大沢ごみ処理場使用許可証 大沢ごみ処理場へごみを搬入する際の使用許可証を事前に入し、まだ利用していない場合はどうなるのか、との質疑があり、大沢ごみ処理場へ搬入可能な時期と、それまでに使用するよう十分周知を図り、遺漏のないよう取り組んでまいりたい、との答弁があった。

●畠町通り等アーケード撤去 商店街全員の同意が得られていないようだが、その対応について質疑があり、今後実施段階で個人負担を含め話し合いがなされ、反対者が出て

くる可能性もあると思われるが、全面撤去が大原則である。道路管理者である県はアーケードは連続して設置されているから公共性があると認め占用を許可している。市としては維持管理が適切でなければアーケードの返還もあり得るが、県が個人所有を認めるか、また、道路占用料や固定資産税の問題もあり、反対者には商店街と一緒に説得に当たりたい、との答弁があった。

また、事業主体の商店街全体の同意があつて補助要請がされるべきであり、全員の同意を得るような指導はしていないのか、との質疑には、各商店街の総意として要請を受け、商工会議所やTMO能代も一体となつて取り組んでいる経緯もある。反対者がいるとの情報はあつたが、商店街側が全面的に説得することなので、そのような指導や手続はしていない、との答弁であったが、事業を進める上で反対者がいるのであれば、期限を切つて全員の同意を求める必要があるのではないかと、この質疑があり、事業実施前に商店街には同意を取るような形で話を詰めてまいりたい、との答弁があつた。

(穴山)